



たに さとし
谷 聡さん
橿原市立白樺中学校教諭

奈良県出身。平成4(1992)年に奈良県の中学校教員となり、20(2008)年に大学院修士課程社会系コースに入学。現任校では生徒指導主事と2年生の学年主任、野球部部長を兼務する。



さし くま まもる
指熊 衛さん
兵庫教育大学附属小学校教諭

洲本市出身。平成18(2006)年、学校教育学部学校教育系コースを卒業し、西宮市の小学校に勤務。今年度から兵庫教育大学附属小学校に着任し、2年生を担当している。

▶今年8月の全日本少年軟式野球大会では1回戦で負けましたが、生徒たちは頑張ってくれました



▶体育の時間の「こま。うれしのカーバル」に向けて児童たちとスムーズなバトンパスについて考えました



学校現場のさまざまな領域で 成果を挙げたいです

大 学院の2年間で得た最大のもの、中学校教員を続けていく上でのマスターキーです。現任校では生徒指導主事と2年生の学年主任、そして野球部部長を務めています。野球部は今年の春、夏とも全国大会に出場しました。特に春はたった10人の部員で大舞台に挑みました。

このように学校現場では大学院で学んだ専門性とは異なる領域での仕事も求められます。その期待に応えるには、今まで経験したことの無い課題に直面したときの振る舞い方、つまり教員としてのマスターキーが必要になります。私は米田豊教授から社会科学教育の高い専門性とともに、このマスターキーを授けていただきました。それは真剣勝負のゼミを重ね、先生と触れ合う時間を経て自然に身に付いていったものです。今後、大学院で学んだことを礎に社会科授業で勝負しつつ、ミドルリーダーとしての役割も果たしていきたいです。

教育実習以来の附属小学校 初心忘れず成長し続けたいです

小 学校教員になって8年目、教育実習から9年ぶりに附属小学校へ帰ってきました。学生時代、教育実習で目にした授業や先生の姿から、「子どもの声をつないでつくる授業がしたい」「子どもに寄り添い、目の前の子どもを語ることができる教員になりたい」と思ったことを今でもはつきりと覚えています。

学生時代は部活動やボランティア、アルバイト、自然学校のリーダー、ゼミでの学校訪問などを経験し、失敗したことも多々ありました。そのときは恥ずかしい、つらいと感じましたが、それが今の自分をつくっていると思います。在学生の皆さんも失敗を恐れず、たくさんのことを経験してください。その経験は教員になったときにきっと生きてきます。

これからも目の前の子どもに寄り添える教員を目指し、実践を積み重ねて成長し続けたいです。皆さんと教育実習で出会えることを楽しみにしています。

▶同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ 教育実践研究活動等に係る表彰について

8月3日、4日に福岡市で開催した第33回大学院同窓会九州大会で、平成25(2013)年度「教育実践研究活動等に係る表彰」を行いました。この表彰は、教育実践研究活動等に顕著な成果を挙げ、大学や大学院同窓会の名誉を著しく高

めた修了生が対象。今年は6人を表彰しました。詳しくはHyokyo-netをご覧ください。

◎被表彰者(敬称略)

嬉野賞/中田正浩(7期・社会系、25期・教育経営、大阪府)、森泰三(13期・社会系、岡山県)、山下恭(3期・社会系、兵庫県)

奨励賞/森本雄一(28期・自然系、兵庫県)

特別賞/酒巻成欣(2期・教育方法、大阪府)、塩瀬昌雄(1期・教育経営、大阪府)